

「気候変動」から私たちのくらしや社会を守るための《 適応策 》について一緒に考えてみよう！

地球温暖化による気温上昇やそれに起因する自然災害の発生で避難の必要が出てくる可能性があります。

そこで！今回のテーマは、

「ペット × 熱中症&防災」



北野先生
(沖縄県獣医師会員)

北野先生（沖縄県獣医師会員）へインタビューしたよ！

Q1 動物たちの熱中症の症状ってどんなもの？なった時はどうしたらいいの？

A 犬や猫も人間と同じように呼吸が荒くなったり、よだれの量が多くなったりします。症状がひどくなると、嘔吐やけいれんが起きることもあり、命にかかわる場合もあるので注意深く様子をみましょう。熱中症かもと思ったときは、涼しい場所へ移動、水をかけるなどして体温を下げながら病院へ！

ペットの
理想温度

27
℃
～
24℃



Q2 ペットの暑さ対策とお散歩で注意することは？

A 【ペットを室内で飼っている方】クーラーを適切に使いましょう。多くの動物は汗で体温を下げられないため、設定温度は人間よりやや低めが理想ですが、個体差があるので、普段から好みの温度を観察しておきましょう。ハムスターなどは、ケージに直接、日光があたらないよう涼しい場所で飼いましょう。

【ペットを屋外で飼っている方】必ず風通しの良い日陰を作ってください。ヤギの場合、近年の気温上昇に加え、外国の品種との交雑により暑さに弱くなっているヤギがいます。お散歩は朝夕の涼しい時間帯に行い、途中で水分補給も忘れずに！



気候変動の影響で
増えるかもしれない

Q3 台風や大雨のとき気をつけることはどんなこと？

A 基本的に犬や猫などのペットは屋内で飼育することが多いけれど、もし屋外で飼っている場合は、安全な屋内に退避させること！犬は雷に驚いて逃げ出すことがあるし、猫は視界や路面状況の悪化で事故にあいやすくなります。暴風雨がおさまった後も安全が確認できるまで、散歩は最低限にとどめること。強風で立て看板が倒れてくる等があると、犬はいつもの散歩コースを怖がるようになってしまいます。また、汚水で覆われた道路は細菌や寄生虫で汚染されていることがあるので、近づかせないことも大切です！

猫は普段から
家の中で飼うようにしましょう



全国の犬の飼い主（20歳以上）325名に聞いてみた！

Q 飼っている犬が熱中症にかかったことある？

Q どのような場面で熱中症にかかったか？

